地域ごとのまちづくり計画推進シート

提出日：令和　４年（２０２２年）８月１７日

（市民協働推進課経由）
協働の取組推進担当次長　宛

まちづくり協議会名称：良元地区まちづくり協議会

代表者氏名：　中　義昭

１　地域ごとのまちづくり計画の該当箇所（計画に記載している内容を転記してください）

【基本目標】
2．人々が集うにぎわいのあるまち
【具体的な取り組み】
　阪急小林駅周辺を含む地域活性化
　１　小林駅周辺整備事業の推進の要請

　２　市との情報交換会の実施

※　地域ごとのまちづくり計画書の６ページに記載

２　この取組の連絡窓口（氏名、所属（部会名）、連絡先）

（１）氏名
　●●　●●

（２）役職・所属する部会名等
　●●

（３）連絡先（電話番号、メールアドレス）
　電話番号：●●
　メールアドレス：●●

※ 次ページに続く

３　「具体的な取り組み」について

目的・課題、内容についてご記載ください。

【目的・課題（どのような地域課題があるか）】

【記載例】

・●●地域には「■■～～～■■」という地域課題がある。地域ごとのまちづくり計画に記載している「▲▲～～～▲▲」を実現することで、▼▼が推進され、地域課題の解決につながると考えている。

・良元地区の玄関口として阪急小林駅があり、道の両側に商店が並ぶ下町の雰囲気をつくっている。駅の近くには西公民館や良元小学校などの教育施設やイズミヤなどの商業施設があり、多くの車や人が集まる箇所になっている。
また、逆瀬川～仁川方面への抜け道としての利用も多い。
しかし、地域内の道路幅は狭く、歩行者の安全が十分に確保されていない個所や、自動車の通行量が多く、自転車、単車が混在しているため、車の離合も困難となっている個所もある。また、駅前への自動車の乗り付けも困難で、交通弱者への対応ができていない。

・新地域ごとのまちづくり計画のための住民アンケートでも、小林駅前周辺の整備については、現状の課題を挙げ、どんな街になったら良いかの問いには、駅前は交流の場や自転車置き場の整備、タクシー乗り場などのまとまりのある駅前の整備を望むとなっている。

・小林駅周辺の整備計画については、以前から地元の促進委員会と行政とで協議を重ねてきているとのことだが、コミュニティとしてはその進展状況を知る由もない状態が続いている。

【内容（何をするのか、いつするのか等）】

【記載例】

・「計画の内容を実現するため、●年●月頃までに■■を実施したい。」

・「計画内容の実現に向けて、まずは行政の関係課と協議を実施したい。」等

※　既に取り組んでいる事業の場合は「これまでの取り組み」や「これまで対話を進めてきた関係課及び対話の状況」等もご記入ください

・意見交換会（説明会）は１０月６日午後を目途に調整していきたい。

・小林駅前周辺整備計画について、行政から現状と今後の計画等について説明を聞くことにより情報共有し、今後どのように改善を進めていくのかを、担当部署と地域住民とで協議をしていきたい。